自閉症・情緒障害特別支援学級（中学校）における自ら考え進路を選択する生徒の育成

―「自分にはこんなことができる」「こんなことをしたい」という気持ちがもてる学級活動に視点を当てて―

特別支援教育班　木暮 敦美（中学校教諭）

《研究構想図》

自閉症・情緒障害の生徒の困難さ
自分のよさに気付けない、相手の立場が分かりにくい、情報不足
どうしても難しい勉強がある、やるべきことを忘れてしまう、見通しがもちにくい
自分で選ぶことが難しい、今の自分がすべきことが分からない

通常の学級の進路学習
人間関係形成能力　情報活用能力　将来設計能力　意思決定能力
1年
2年
3年
職業的（進路）発達を踏まえた生徒の目指す姿

自閉症・情緒障害特別支援学級で必要な進路学習　学級活動では…
1年　学級づくり・自分のよさ・職業を知る
2年　職体験学習を通じて・進路を考える
3年　進路先について知る・進路計画・進路選択と実際の手続き

「自分にはこんなことができる」「こんなことをしたい！」

「目指す姿」から指導計画が立てやすくなる

ポイント

生徒のよい姿をほめる

各教科等・自立活動

自ら考え進路を選択する生徒

自閉症・情緒障害特別支援学級の生徒は…

・言語の理解、対人関係、コミュニケーション等の困難さ
・高校進学を希望しているが、生徒にとって分かりやすい情報が不足しがちで、自分にふさわしい進路が分からない
「自分のよさが分からない」「将来の夢がない」

教師の願い

将来、働く意欲をもった社会の一員になってほしい
そのために…
生徒なりに考え進路を選択することができるようにしたい

やってみよう！

★キャリア教育の視点を生かして、「目指す姿」から指導計画を作成しよう！
★生徒のよい姿をほめて「自分にはこんなことができる」「こんなことをしたい」気持ちがもてる授業をしよう！

①キャリア教育「4つの能力」を観点として本学級の生徒に現れている姿から育成すべき能力を整理して、三年間のステップを作成

本学級における、職業的（進路）発達を踏まえた生徒の目指す姿

領域	能力	1学年	2学年
人間関係形成能力	自他の理解力 コミュニケーション能力	○自分のよさや個性がわかる。 ○相手の立場を考えた話し方やかかわり方をする。	○相手のことを考えた言動ができる。 ○他者に配慮しながら、人間関係を築こうとする。
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力	○職業について調べたり、伝え合ったりできる。 ○将来の職業を決めるために、今の学習の大切さがわかる。	○職業に求められる資格や学歴がおおよそわかる。 ○体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いがわかる。
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力	○よりよい集団活動のための役割分担やその方法がわかる。 ○将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を持つようになる。	○様々な職業の社会的役割を理解し、自分の生き方を考える。 ○進路計画を立てる方法を知り、自分の将来の計画を立てるようになる。
意思決定能力	選択能力 課題解決能力	○自分の個性等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 ○よりよい生活や学習を目指して努力する。	○選択の意味や判断の過程、結果には責任が伴うことがわかる。 ○よりよい生き方を目指して、自ら課題を見出していくことの大切さがわかる。

②ステップと本校の進路指導（進路学習）計画を踏まえて作成

本学級における進路指導計画とそれに関わる学級活動の学習計画

学活以外	学級活動
1学年	
1学期 ・部活動オリエンテーション ・家庭訪問（個別の支援計画作成） ・テスト終結の計画	「ひまわり Ⅱ　学級目標・班活作りをしよう」 ○学級目標を立て、必要な組織と役割を決める ・自己紹介カード、抱負を書いた作文の発表 ・学級目標と必要な組織について話し合い ・決定事項の掲示物作成
2学期 ・福祉体験学習 ・三者面談（個別の支援計画修正）	「自分の特徴を自分のよさにしていこう」 ○自分の特徴・よさ・努力点・人のために何ができるか、についてまとめ、発表する ・家族や友達への聞き取り ・チェックリストで自分自身を見つめなおす ・「努力点・人のために何ができるか」決意表明
3学期 ・PASカードで自己適正理解、身近な人の職業調べ	「身近な職業と生活について考えよう」 ○職業調べでわかったことをクイズ形式にして、様々な職業の仕事内容や働く人の考えを知る ・家やインターネットで調べる、まとめる ・クイズを出し合う
2学年	
1学期 ・家庭訪問（個別の支援計画作成） ・職場体験学習に向けて	「職場体験学習の心構え」 ○人が働く理由について自分なりの考えを持つ ・家族や先生、友達との意見交換 ○自分の職場体験場所について知る ・事前内容、場所、交通手段等を調べる ・職場でのマナーについて練習 ・事前の打ち合わせのリハーサル
2学期 ・職場体験学習（活動は2日間） ・三者面談（個別の支援計画修正）	「職場体験学習をしよう」 ○職場体験学習で必要なもの（こと） ・配役、持ち物、服装等の確認
3学期 ・上級学校調べ	○学習の[illegible] ・職業に就くためのシュミレーション ・上級学校について本やインターネットで調べる
3学年	
1学期 ・家庭訪問（個別の支援計画作成） ・実力テストの準備 ・上級学校見学	「進路先の様子を知ろう」 ○体験入学の心構えと準備 ・所在地、交通手段等、必要なことを調べる ・参加する意思や気をつけること ・体験入学のまとめ
2学期 ・三者面談（進路計画） ・面接練習 ・進路学習会 ・三者面談（進路選択）	「計画に出会えるその計画を立てよう」 ○卒業後の進路についておおよその計画を立てる ・自分の希望により近づくための上級学校選択 ・家族・教師との相談
3学期 ・進路決定へ向けて ・書類作成、受験の準備 ・卒業に向けて	「進路確認マップを作ろう」 ○進路確認と実際の手続きの確認 ・進路確認マップをもとに、志願理由書作成 ・実際の手続きについてイメージを持つ

③学級活動で、2年3名を対象に題材「職場体験学習から学ぼう」を実践

	主な学習活動　【　】は育成したい能力	生徒の姿
事前	○9月『職場体験学習』2日間実施。 【人間関係形成能力】 ・各事業所での仕事を見学・体験。働いている方へインタビュー。記録。 ○事業所へのお礼の手紙と職場体験報告書を各自作成、報告書は2学年で冊子にまとめる。 ・感謝の気持ちを伝える手紙の書き方。自分が体験したことの文章化。	それぞれ警察署・消防署、小学校、ショッピングセンターで予定の内容を体験できた。体験後、お礼の手紙等で体験したことやお世話になった方への感謝の言葉が書けた。
第1時	○職場体験でしたこと、見たこと、聞いたことを思い出そう。 【情報活用能力】 ・通路ファイル、職場体験学習報告書を参考に、実際の活動を思い出し、付箋紙に自分がしたこと等を書き出し、そのときの気持ちや思いを話し合い気付いたことを書き加える。 ・「大変」でも「なぜ頑張れるのか」に注目して、働く喜びについて話し合い、大切なことを短い言葉で表す。	体験したことを思い出し、付箋紙に書き出せた。その整理作業を通して、仕事の大変さやおもしろさに気付き、命を守る、児童に向かう真剣な姿勢、お客様の幸せを考えること等、働く人の気持ちに迫ることができた。 （第1時　付箋紙作業シート①）
第2時	○体験を発表し合い、それぞれの職業での働く喜びについて考えよう。 【情報活用能力・意思決定能力】 ・前時の作業シートを掲示し（警察官・消防士、教師、店員）、書き込んだことを発表する。 ・体験した職業とその他の職業（農業、プレス工、クリエイター、科学者等）での「働く喜び」について紹介する。 。職業名を伏せて紹介し生徒にどんな職業か考えさせる。働く喜びについて比較し、自分がいいと思った[illegible] ・一人一人[illegible] つか選[illegible]	プレゼンテーションを見て、様々な職業の人の働く喜びを知り、それぞれの役割と自分の適性とを比較し、してみたい職業（工場で働く、教師、野球選手、販売員か Web デザ[illegible] （第2時　ワークシート②）
事後	○11月　三者[illegible] ○3学期　総合「上級学校[illegible]」での学習へ。 【情報活用能力・将来設計能力】	[illegible]保護者に話せた。

④授業において生徒のよい姿をとらえ、大いに賞賛したときの生徒の姿

第3時の授業で、教師が生徒の姿をどうとらえようとしたのかを　で示した。

生徒の姿	生徒のよい姿をとらえ、教師が大いに賞賛したとき（Dが職場体験で頑張ったことについて）
Dさん：「…」言葉が出ない。 Eさん：Dの付箋紙作業シート①を見て「警察・消防署よりも物を作る仕事の方が好きだと思った」	相手のことを考えた言動 「Eは友達のいいところが思い出せる、すごいなあ。Dは体験を頑張ったからこそ、自分は物を作ることが？」
Dさん：「得意」	自分のよさを再確認 「Dのいいところは？」
Fさん：「やることがていねい」 Eさん：「神経質」	「細かいこともきちんとコツコツやる。Dは、2日間とも職場まで片道1時間かけて自転車で通った」
Eさん：「俺は徒歩5分だった」 Fさん：自分は自転車で30分だったので思わず「おー！」と感心した。	自分の体験から相手のよさへ気付く 「Dは、まじめにきちんとやれるというよさがある」

「目指す姿」の設定によって

◎「目指す姿」を示したことで、キャリア発達を支援する観点をもって、学習計画が立てられた。
◎各学年の学習に合わせてその時期に本学級で扱うべき内容が明確になった。

◎授業を通し、生徒が自分のよさに気付き、したい仕事のイメージや将来の夢が語れた。
◎職場体験学習と実践によって、2学年の「目指す姿」に近付いている姿が現れた。

前時の資料を見ながら話合う
「工場で働きたいな」
「目指せ工場長！」
「私も自分の店がほしい！」

よい姿をほめること

◎教師が仲立ち役となっての話合い活動を柱とした授業により、進路について考えることができた。「よい姿」とは、目指す姿に近付いていこうとする思考や言動で、教師がこれを丁寧に取り上げ賞賛していくことが有効であった。

まとめ

○キャリア発達の視点を指導者がもつことで、生徒はその発達の道筋をたどってよりよい変容を見せることが分かった。
通常の学級での学習で一緒にやることに不安がある生徒も、各学年の目標との関連を明確にした本学級の授業において課題にじっくり向かうことで、なんとか自分もできるという思いを持つことができた。
○生徒の目指す姿をイメージして意図的に賞賛すると、生徒も互いのよさを認め合う話合いができる。
「自分にはこんなことができる」「こんなことをしたい」と思う体験によって、自分の生き方を前向きに考えることができた。